

(※)濃度基準値が定まっていない場合には、ACGIH等で設定されているOELのうち最小のものを利用して検討を行う。濃度基準値が定まり、当該濃度基準値が検討に用いたOELと異なる場合には採用された測定法が当該濃度基準値に対しても適用可能か検証する。

No.	CAS RN	物質名称	①測定範囲 濃度基準値(※) の1/10及び2倍 が測定範囲に 入っていれば ○、不明確なら ば△、データな しならばND	②抽出/脱着率 または回収率 値が75%以上な らば○ 75%未満ならば △ データなしなら ばND	③保存安定性 値が90%以上な らば○ 90%未満ならば △ 50%程度ならば ×データなしな らばND	④破過 ○は濃度基準値 (※)の2倍で破過 の可能性なし △は濃度基準値 (※)の2倍で破過 の可能性あり データがなければ ND	測定方法	捕集法	溶解法	分析法	測定法の総合評価 ○:OK(備考ありを含む) △:要確認(備考参照) P:検証や他の方法の探索が必要	総合評価の実用上の判断 ○ or P (○物質のみ表示)	備考
1	19 76-01-7	ペンタクロロエタン	○	○	○	○	固体捕集-ガスクロマトグラフ分析方法	Porapak R 0.01~0.2 L/min 5~50 min	ヘキサン 2 mL	GC/ECD	○	○	・保存安定性の試験が低濃度で実施されているが、安定に保存できると推測できる
2	29 89-72-5	オルト-セカンダリ-ブチルフェノール	○	○	○	○	固体捕集-ガスクロマトグラフ分析方法	XAD-7捕集管 0.2 L/min 100 min	メタノール 1 mL	GC/FID	○	○	
3	30 90-12-0	1-メチルナフタレン	○	○	ND	○	固体捕集-ガスクロマトグラフ分析方法	InertSep Slim-J AERO SDB 0.1 L/min 240 min	ジクロロメタン 5 mL	GC/MS	△	○	・捕集後、できるだけ速やかに分析する
4	32 91-57-6	2-メチルナフタレン	○	○	ND	○	固体捕集-ガスクロマトグラフ分析方法	InertSep Slim-J AERO SDB 0.1 L/min 240 min	ジクロロメタン 5 mL	GC/MS	△	○	・捕集後、できるだけ速やかに分析する
5	43 106-49-0	p-トルイジン	○	○	○	○	ろ過(反応)捕集-ガスクロマトグラフ分析法	硫酸含浸ガラス繊維フィルター 1.0 L/min 100 min	0.17N水酸化ナトリウム3 mL + トルエン2 mL	GC/ECD	○	○	
6	49 108-44-1	m-トルイジン	○	○	○	○	ろ過(反応)捕集-ガスクロマトグラフ分析法	硫酸含浸ガラス繊維フィルター 1.0 L/min 100 min	0.17N水酸化ナトリウム3 mL + トルエン2 mL	GC/ECD	○	○	
7	62 111-96-6	ジエチレングリコールジメチルエーテル	○	○	△	○	固体捕集-ガスクロマトグラフ分析方法	活性炭チューブ 1L/min 120 min	ジクロロメタン/メタノール (9/1) 10 mL	GC/FID	△	○	・捕集後、できるだけ速やかに分析する
8	81 141-66-2	りん酸ジメチル=(E)-1-(N,N-ジメチルカルバモイル)-1-プロペン-2-イル (別名:ジクロトホス)	△	△	△	○	(ろ過+固体)捕集-ガスクロマトグラフ分析法	OVS-2(石英フィルター+XAD-2) 0.2~1 L/min 12~1200 min	トルエン/アセトン (9/1) 2 mL	GC/FPD	△	○	・IFV評価値:41 ・参考文献がNIOSHの有機リン系農薬の測定法であるため、使用法を考慮してろ過捕集を組合わせる。 ・①~③について確認された濃度範囲:OELの0.5倍-10倍の濃度

9	99	563-12-2	ビス(ジチオリン酸)S,S'-メチレン-0,0,O',O'-テトラエチル(別名:エチオン)	△	△	△	○	(ろ過+固体)捕集-ガスクロマトグラフ分析法	OVS-2(石英フィルター+XAD-2) 0.2~1 L/min 12~1200 min	トルエン/アセトン(9/1) 2 mL	GC/FPD	△	○	・IFV評価値:0.6 ・参考文献がNIOSHの有機リン系農薬の測定法であるため、使用法を考慮してろ過捕集を組み合わせる。 ・①~③について確認された濃度範囲:OELの0.8倍-16倍の濃度 ・測定時に検量線を確認する。
10	99	431-03-8	ジアセチル	○	○	○	○	固体捕集-ガスクロマトグラフ分析法	シリカゲル管2本連結 0.2または0.05 L/min 15 min(0.2 L/min) 180 min(0.05 L/min)	エタノール/水(95/5) 2 mL	GC/ECD	○	○	・捕集後、PFBHA(O-(2,3,4,5,6-ペンタフルオロベンジル)ヒドロキシルアミン)で誘導体化する。
11	126	4016-14-2	1,2-エポキシ-3-イソプロポキシプロパン	○	○	ND	○	固体捕集-ガスクロマトグラフ分析法	ヤシ殻活性炭管 0.01~0.2 L/min 5~3000 min	二酸化炭素 0.5 mL	GC/FID	△	○	・捕集後、できるだけ速やかに分析する
12	166	35400-43-2	ジチオリン酸O-エチル-O-(4-メチルチオフェニル)-S-n-プロピル	○	○	○	△	(ろ過+固体)捕集-ガスクロマトグラフ分析法	OVS-2(石英フィルター+XAD-2) 0.2~1 L/min 12~1200 min	トルエン/アセトン(9/1) 2 mL	GC/FPD	△	○	・IFV評価値:0.50 ・参考文献がNIOSHの有機リン系農薬の測定法であるため、使用法を考慮してろ過捕集を組み合わせる。 ・OELの0.5倍の濃度で1L/minで12時間通気しても破過なし。